

ウナギ、今年は安い



今年の土用の丑（7月21日）のウナギは昨年よりも安くなる見込みです。ウナギの稚魚であるシラスが豊漁。過去最低だった昨年の4倍の漁獲量で国内の養殖場は稚魚で満杯だとか。国内に限らず東アジア全域でシラスが豊漁状態。国内で消費される約半数は中国産ですが、こちらも輸入量に問題ないようです。とは言え、絶滅が危惧される魚種に変わりではなく、継続した資源管理が必要です。



七尾 天然トリガイ 大不漁

七尾が誇る「天然トリガイ」が大不漁のため漁を中断しています。推定される資源量は9万7千個。過去10年平均の21万個を大きく下回っています。再開の判断は5月5日ですが状況の改善は難しそうです。

入荷状況

5月
★タイ
カレイ類
★毛ガニ
サワラ(サゴシ)
サヨリ
★トリ貝
6月
スズキ
トビウオ
★岩カキ
メジ
フクラギ(ブリの幼魚)
★アカイカ
★スルメ



タイ

地物をはじめ、九州方面からも潤沢に入荷見込みです。



毛ガニ

小型サイズのものがお手ごろです。



岩カキ (夏カキ)

8月末までが漁期です。3L (500g) サイズです。(能登産)



アカイカ、スルメイカ

梅雨に入ってくると大きくなってきます。(石川) 地物の入荷はもう少し先です。

ハモ

愛媛産、関西圏からの入荷です。韓国産は脂ののりが良いとされ高値。徐々に入荷しています。



甘エビ

脱皮の時期を過ぎようやくいいものが入ってきます。

詳しくは営業担当まで
お問い合わせください